

プレスリリース
報道関係者各位

2024年6月5日
休暇村近江八幡

**随筆家 白洲正子さんも絶賛の景色
西国三十一番札所の長命寺で紫陽花が見ごろをむかえます
休暇村近江八幡では長命寺の特別拝観にご案内する宿泊プランを実施**

滋賀県のほぼ中央、琵琶湖の湖東近江八幡市に建つリゾートホテル「休暇村近江八幡」(所在地：滋賀県近江八幡市沖島町 総支配人：藤井嗣己)では、「紫陽花寺」の別名もある長命寺をボランティアガイドが案内する特別拝観が付いた宿泊プランを実施します。800段を超える石段に沿って植えられた紫陽花が見事で、石段を登ると琵琶湖や対岸の比叡山などが見渡せます。本堂や三重塔、護摩堂などの建築物や安置する仏像の多くが国の重要文化財も見どころの一つです。

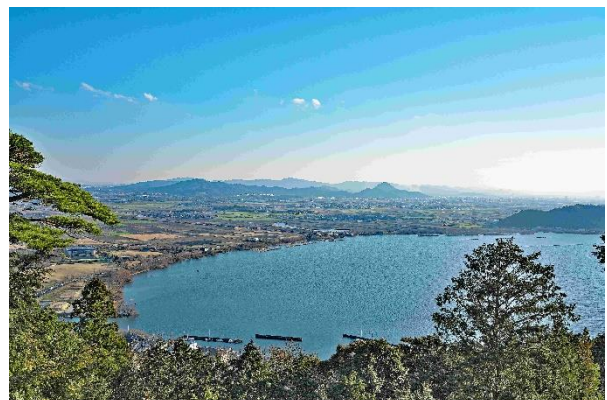


古刹は美しい紫陽花に包まれ、訪れた参拝者の目を楽しませてくれます

◆西国第三十一番 姨綺耶山（いきやさん）長命寺

長命寺山（333m）の標高約 250m の山腹にある寺院です。西国三十三カ所第 31 番札所で、ご本尊は千手十一面聖観世音菩薩で「寿命長遠」の御利益があるとされています。

湖岸のそばから 808 段といわれる長い石段を登ると、重要文化財の諸堂の屋根の線が美しく重なりあい、他の建築物もすべてが県あるいは市の指定文化財になっているという由緒ある寺院です。



808段の石段を登ると、琵琶湖や対岸の比叡山などが見渡せる絶景が広がります

びわこビクターズビューロー
長命寺の紹介 <https://00m.in/YPZqO>

◆休暇村近江八幡 紫陽花寺「長命寺」特別拝観付き宿泊プラン

紫陽花の開花時期に合わせて、重要文化財の古刹「長命寺」を近江八幡ボランティアガイドの会がご案内します。長命寺には「参詣曼荼羅」と呼ばれる絵画が複数伝えられています。その「参詣曼荼羅」特別開帳や「本堂内陣」の特別拝観、もちろん長命寺に伝来する本堂、三重の塔を始めとする古建築、仏像類も見逃せません。山腹に鎮座する「六処権現影向石（ろくしょごんげんようごうせき）」や、「修多羅岩（すたらいわ）」なども必見。境内から見る琵琶湖の景観も見所です。



参詣曼荼羅には長命寺の本堂や三仏堂、三重塔の建物や参詣者のにぎわいなどが克明に描かれており、勸進聖などが絵解きをしながら寄付を募ったとされています。



「修多羅岩」(すたらいわ)
この「修多羅岩」は、長寿祈願して300年以上も長生きした、「武内宿禰(たけのうちのすくね=伝承上の人物)」の御神体として信仰されています。



国指定重要文化財の本堂
本堂に安置された千手観音、十一面観音、聖観音の三体は、いずれも秘仏。脇壇には鎌倉時代に彫像された毘沙門天像が安置され、それぞれ国指定重要文化財に指定されています。

期 日：2024年6月17日(月)
～2024年7月15日(月・祝)の
月曜・火曜・水曜のご宿泊
※1日10名様限定
料 金：2名1室利用 1泊2食付き
お一人様24,150円
(税込 拝観料込)

ご夕食：近江牛会席 極 特別拝観宿泊プラン

拝観日：拝観日は宿泊日の翌日となります
集合 長命寺本堂前 10:30
所要時間 約1時間



日本三大和牛の一つとされる「近江牛」。ホテル直営の肉屋が厳選した近江牛を「ステーキ」「しゃぶしゃぶ」「ローストビーフ」の他、出汁の旨味で味わう「近江牛スープ茶漬け」をご用意。近江牛をお1人様300g使用した質・量共に至福の近江牛会席です。

◆琵琶湖の絶景と近江牛を堪能する湖畔の温泉 休暇村近江八幡

琵琶湖を眺めながら入る温泉も楽しめます。キャンプ、カヌー、プール(夏季限定)などのアクティビティも充実、特別な癒しの旅をお楽しみいただけます。青もみじと紫陽花の古刹を巡る花巡礼の旅、文化財と青もみじの新緑や紫陽花に触れることで、心が豊かになること間違いありません。



琵琶湖の絶景・近江牛と天然温泉の宿

所在地 : 〒523-0801 近江八幡市沖島町宮ヶ浜 tel0748-32-3138

総支配人 : 藤井 嗣己

URL : <https://www.qkamura.or.jp/ohmi>

自然にときめくリゾート 休暇村

◆自然にときめくリゾート 休暇村

日本の景色を代表する国立公園・国定公園など優れた自然環境の中にあるリゾートホテル。35か所ある休暇村は、「自然にときめくリゾート」のコンセプトのもと、地元の食材を活かした料理や、地域の自然、文化、歴史とのふれあいプログラムなど、その土地ならではの魅力にふれる場を提供し、すべてのお客様に心が自然にときめくひとときをお届けします。

休暇村
自然にときめくリゾート

本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

休暇村 近江八幡 担当：高山 智行 / 浅井 敬治

TEL : 0748-32-3138 FAX : 0748-32-8650

MAIL : kouho_pr@qkamura.or.jp